

# 丸亀支部国語部会

丸亀・東中 清吾 彩子

## 1 研究主題

生きて働く力を育む国語教室  
～言葉による見方・考え方を働かせ、  
深まる学び～

## 2 研究活動の概要

### (1) 5月2日(木)〔支部総会〕

- ① 本年度の役員の選出
- ② 研究主題の設定
- ③ 年間計画の作成

### (2) 7月26日(金)〔市夏季研修会〕

- ① 10月の研究授業の提案(西中)
- ② 10月の研究授業について情報交換

### (3) 10月23日(水)〔市総合研究会〕

- ① 研究授業
- ② 授業討議・指導

### (4) 12月4日(水)

- ① まとめ

## 3 研究授業と討議・指導

### (1) 授業者・題材

丸亀市立西中学校 岡田 恵実 教諭  
第2学年 「黄金の扇風機」

「サハラ砂漠の茶会」

- ・生徒が身近に感じ、憧れを持っている西中ソーランをテーマに、考えを比較する。
- ・様々な文章を比較して読むことで、自分の考えを深めるとともに、比較することの効果に気付く。

### (2) 学習指導過程

- ① 前時の復習を行う。
- ② 本時の学習課題を知る。

#### 学習課題

- 自分の考えと比較して読んでみよう。
- ③ 比較して読むことで考えを深める。
    - (i) 他の人の考えと自分の考えを比較する。
    - (ii) 「黄金の扇風機」、「サハラ砂漠の茶会」の筆者の主張と自分の考えとを比較し、自分の考えが「黄金の扇風機」、

「サハラ砂漠の茶会」のどちらの筆者の考えに近いかを話し合い、分類させる。

(iii) 全体で考えを共有し、自分の考えと比較する。

(iv) 本時の学習内容を振り返る。自分の考えと、全体で出た考えや、「黄金の扇風機」、「サハラ砂漠の茶会」に示された筆者の考えを比較して、振り返りを書くよう促す。

## 4 授業後の討議および指導内容

### (1) 授業討議

- ・1人1枚のホワイトボードを用意し、それを用いて意見発表を行ったことによって、全員参加型の授業を行うことができた。
- ・課題として、比較の観点の明確さ、根拠の読み取りの誤り・不十分さへの指導、時間配分、意見の偏り、分類する必要感をもたせる工夫が挙げられた。

### (2) 指導内容

指導者 香川県教育センター

主任指導主事 一田 幸子先生

- ・自分と筆者の考えを比較するグループ活動で、「何をどのように進めればよいか」を明確にすることが重要である。
- ・「何が書かれているか」でなく「どう書かれているか」に着目させ、何のために比較するのか、ゴールが明確になるとよい。
- ・文章を比較する観点を明確にすることが重要である。比較の観点の例として①筆者の主張、②論理の展開、③表現効果、④文章の構成が挙げられる。

## 5 成果と課題

活動テーマを生徒の関心が高いものにしたことで、一人一人が自分事として活動に取り組めた。また、ホワイトボードを使って考えを全体共有したことで、全員が活動に参加し、それぞれの考えを比較することができた。課題として、生徒が考える「西中ソーラン」の美しさの根拠を、本文に求める際、読みが誤っている場合があったため、丁寧に文章を読み取る単元構成にする必要があった。